平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場会社名　日本新薬株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　4516　URL　http://www.nippon-shinyaku.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 前川 重信
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務部長　(氏名) 櫻井 太郎　TEL 075-321-9114

四半期報告書提出予定日　平成24年11月8日　配当支払開始予定日　平成24年12月7日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	33,143	3.0	3,070	2.0	3,317	5.9	2,093	4.0
24年3月期第2四半期	32,173	5.8	3,011	35.0	3,133	29.4	2,012	38.8

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　1,491百万円　(△5.8%)　24年3月期第2四半期　1,584百万円　(626.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	31.02	―
24年3月期第2四半期	29.81	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	107,453	85,370	79.3	1,262.11
24年3月期	106,304	84,566	79.4	1,250.11

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　85,175百万円　24年3月期　84,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	9.00	―	10.00	19.00
25年3月期	―	10.00			
25年3月期(予想)			―	11.00	21.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,400	3.1	6,600	9.8	6,800	9.8	4,300	15.7	63.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	70,251,484 株	24年3月期	70,251,484 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,765,354 株	24年3月期	2,757,573 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	67,490,257 株	24年3月期2Q	67,506,738 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。連結業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)
当社は、機関投資家・アナリスト向け決算説明会を平成24年11月8日に開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催にあわせてTDnet及び当社ホームページで開示する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9
４．補足情報 …… 10
（１）主力製品売上高 …… 10
（２）製品開発状況 …… 11
（３）製品開発状況・補足資料…… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は331億4千3百万円と対前年同期比3.0％の増収、営業利益は30億7千万円と対前年同期比2.0％の増益、経常利益は33億1千7百万円と対前年同期比5.9％の増益、四半期純利益は20億9千3百万円と対前年同期比4.0％の増益となりました。

医薬品事業では、非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤「ハイペン」、前立腺肥大症治療剤「エビプロスタット」等の売上が競合品や後発品の影響等により減少しましたが、骨髄異形成症候群治療剤「ビダーザ」の売上が大きく伸長、月経困難症治療剤「ルナベル」、肺動脈性肺高血圧症治療剤「アドシルカ」、アレルギー性鼻炎治療剤「エリザス」等の売上も伸長しました。その結果、売上高は272億7千6百万円と対前年同期比3.4％の増収となりました。

機能食品事業では、加工食品業界、健康食品業界とも厳しい状況が続く中、たん白製剤の売上は微減となりましたが、ニュートリション素材、品質安定保存剤は伸長、健康食品素材は堅調に推移しました。その結果、売上高は58億6千7百万円と対前年同期比1.3％の増収となりました。

［研究開発の状況］

国内では、アルコール依存症患者の断酒維持の補助剤「NS-11（一般名：アカンプロサートカルシウム）」について、平成24年3月に承認申請を行いました。非麻薬性鎮痛剤「NS-315（一般名：トラマドール塩酸塩）」は、非がん性慢性疼痛への効能追加について、平成24年9月に承認申請を行いました。日本イーライリリー株式会社から導入した「LY450190（一般名：タダラフィル）」については、同社が、前立腺肥大症に伴う排尿障害治療剤として第三相試験を実施中です。経口持続性鎮痛剤「NS-24（一般名：トラマドール塩酸塩）」については、平成24年4月にがん疼痛および非がん性慢性疼痛を対象とした第三相試験を開始しました。肺動脈性肺高血圧症治療剤「ACT-064992（一般名：マシテンタン）」については、平成24年10月にアクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社と共同で第三相試験を開始しました。肺高血圧症治療剤「NS-304（一般名：セレキシパグ）」については、アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社と共同で、肺動脈性肺高血圧症、慢性血栓塞栓性肺高血圧症を対象とした第二相試験を実施中です。抗そう痒剤「NS-141」については、第二相の探索的試験を終了し、次試験に向けて準備中です。

海外では、合成抗菌剤「プルリフロキサシン」について、中国において導出先のリーズ・ファーマ社（香港）が第三相試験を準備中です。「NS-304」については、導出先のアクテリオン ファーマシューティカルズ社（スイス）が肺動脈性肺高血圧症を対象とした第三相試験を実施中です。サイトレックス社（米国）へ導出したチロシンキナーゼ阻害剤「NS-187（一般名：バフェチニブ）」については、B細胞性慢性リンパ性白血病を対象とした第二相試験を実施中です。骨髄線維症治療剤「NS-018」については、米国において第一/二相試験を実施中です。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、1,074億5千3百万円と前連結会計年度末に比べ11億4千8百万円の増加となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金等が減少しましたが、現金及び預金、たな卸資産等が増加し、686億2千3百万円と前連結会計年度末に比べ22億9千万円の増加、固定資産は、有形固定資産、投資その他の資産が減少し、388億2千9百万円と前連結会計年度末に比べ11億4千1百万円の減少となりました。

負債は、支払手形及び買掛金等が増加し、220億8千3百万円と前連結会計年度末に比べ3億4千5百万円の増加となりました。

純資産は、その他の包括利益累計額は減少しましたが、利益剰余金が増加し、853億7千万円と前連結会計年度末に比べ8億3百万円の増加となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ28億3千3百万円増加し、224億9千9百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、43億8千万円の収入となりました。主な内訳は、収入項目では税金等調整前四半期純利益33億1千7百万円、売上債権の減少額18億3千8百万円、減価償却費13億6千1百万円、仕入債務の増加額10億9千8百万円、支出項目では法人税等の支払額12億8千3百万円、たな卸資産の増加額9億3千5百万円です。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、7億7千万円の支出となりました。有形固定資産の取得による支出等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、7億8百万円の支出となりました。配当金の支払等によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成24年５月10日に公表した平成25年３月期の連結業績予想を、平成24年10月25日に修正いたしました。

詳細につきましては、平成24年10月25日に発表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,387	13,883
受取手形及び売掛金	31,988	30,150
有価証券	7,599	8,949
商品及び製品	6,843	7,567
半製品	1,247	1,477
仕掛品	189	274
原材料及び貯蔵品	3,644	3,540
繰延税金資産	1,635	1,469
その他	796	1,310
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	66,333	68,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,629	7,490
土地	8,030	8,030
その他（純額）	2,175	2,053
有形固定資産合計	17,835	17,574
無形固定資産	566	621
投資その他の資産		
投資有価証券	11,170	10,294
繰延税金資産	199	500
長期前払費用	8,111	7,778
その他	2,123	2,082
貸倒引当金	△37	△23
投資その他の資産合計	21,568	20,633
固定資産合計	39,971	38,829
資産合計	106,304	107,453

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,019	6,117
未払金	3,104	2,840
未払法人税等	1,294	1,092
賞与引当金	2,366	2,318
その他	2,177	1,911
流動負債合計	13,961	14,280
固定負債		
繰延税金負債	0	0
退職給付引当金	7,357	7,401
その他	418	401
固定負債合計	7,776	7,802
負債合計	21,738	22,083
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,174	5,174
資本剰余金	4,445	4,445
利益剰余金	73,541	74,959
自己株式	△2,075	△2,083
株主資本合計	81,085	82,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,328	2,717
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	△41	△39
その他の包括利益累計額合計	3,289	2,678
少数株主持分	191	194
純資産合計	84,566	85,370
負債純資産合計	106,304	107,453

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	32,173	33,143
売上原価	15,440	16,548
売上総利益	16,733	16,595
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	3,089	3,063
賞与引当金繰入額	1,512	1,516
販売促進費	458	460
退職給付引当金繰入額	532	527
減価償却費	184	162
研究開発費	4,359	4,118
その他	3,584	3,674
販売費及び一般管理費合計	13,721	13,524
営業利益	3,011	3,070
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	146	145
受取賃貸料	163	167
その他	79	109
営業外収益合計	403	436
営業外費用		
支払利息	4	4
寄付金	100	51
為替差損	17	6
賃貸費用	57	51
その他	101	75
営業外費用合計	281	189
経常利益	3,133	3,317
税金等調整前四半期純利益	3,133	3,317
法人税、住民税及び事業税	1,020	1,083
法人税等調整額	89	131
法人税等合計	1,109	1,214
少数株主損益調整前四半期純利益	2,023	2,102
少数株主利益	11	9
四半期純利益	2,012	2,093

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,023	2,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△431	△610
繰延ヘッジ損益	△7	△1
為替換算調整勘定	△0	1
その他の包括利益合計	△439	△610
四半期包括利益	1,584	1,491
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,573	1,482
少数株主に係る四半期包括利益	11	9

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,133	3,317
減価償却費	1,430	1,361
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△184	43
その他の引当金の増減額（△は減少）	△3	△61
受取利息及び受取配当金	△160	△158
支払利息	4	4
為替差損益（△は益）	102	70
売上債権の増減額（△は増加）	1,333	1,838
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,286	△935
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△124	△506
仕入債務の増減額（△は減少）	1,190	1,098
未払消費税等の増減額（△は減少）	△117	△142
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△224	△497
その他	48	79
小計	5,141	5,509
利息及び配当金の受取額	161	158
利息の支払額	△4	△4
法人税等の支払額	△529	△1,283
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,768	4,380
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△42	△42
定期預金の払戻による収入	30	30
有価証券の取得による支出	△20	－
有価証券の償還による収入	220	－
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却及び償還による収入	100	2
有形固定資産の取得による支出	△471	△487
有形固定資産の売却による収入	20	0
無形固定資産の取得による支出	△110	△137
長期前払費用の取得による支出	－	△152
その他	34	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△241	△770
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△674	△675
自己株式の取得による支出	△9	△8
その他	△24	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△708	△708
現金及び現金同等物に係る換算差額	△102	△68
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,715	2,833
現金及び現金同等物の期首残高	18,142	19,665
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,858	22,499

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
前第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	医薬品	機能食品	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	26,379	5,794	32,173	－	32,173
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	26,379	5,794	32,173	－	32,173
セグメント利益	2,842	169	3,011	－	3,011

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
該当事項はありません。
（のれんの金額の重要な変動）
該当事項はありません。
（重要な負ののれん発生益）
該当事項はありません。

当第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	医薬品	機能食品	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	27,276	5,867	33,143	－	33,143
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	27,276	5,867	33,143	－	33,143
セグメント利益	2,931	139	3,070	－	3,070

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
該当事項はありません。
（のれんの金額の重要な変動）
該当事項はありません。
（重要な負ののれん発生益）
該当事項はありません。

4. 補足情報
(1)主力製品売上高

（単位:百万円）

製品名	薬効	第2四半期累計			通期		
		H24年3月期	H25年3月期	前年同期増減率	H23年3月期	H24年3月期	H25年3月期(予)
ビダーザ	骨髄異形成症候群治療剤	1,903	3,387	78.0%	302	4,577	7,200
エビプロスタット	前立腺肥大症治療剤	3,004	2,651	△ 11.8%	6,342	5,931	5,200
ガスロンN	粘膜防御性胃炎・胃潰瘍治療剤	2,410	2,348	△ 2.5%	4,540	4,879	4,800
ルナベル	月経困難症治療剤	1,803	2,216	22.9%	3,107	3,752	4,500
ハイペン	非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤	2,318	1,803	△ 22.2%	4,846	4,367	3,500
シアリス	勃起不全(ED)治療剤	1,486	1,656	11.4%	2,675	3,043	3,300
セファドール	抗めまい剤	1,344	1,220	△ 9.2%	2,696	2,609	2,400
キロサイド	代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤	1,200	1,204	0.3%	2,651	2,332	2,300
ブラダロン	頻尿治療剤	1,279	1,121	△ 12.3%	2,769	2,518	2,100
エストラサイト	前立腺癌治療剤	1,263	1,092	△ 13.5%	2,630	2,397	2,100
セレクトール	血管拡張性β1遮断薬	1,300	1,087	△ 16.4%	2,852	2,465	2,100
アズノールうがい液	アズレン含嗽液	1,070	1,085	1.4%	2,470	2,553	2,500
アドシルカ	肺動脈性肺高血圧症治療剤	460	879	91.1%	484	1,126	1,900
バイナス	アレルギー性鼻炎治療剤	804	659	△ 18.1%	2,610	2,225	2,300
エリザス	アレルギー性鼻炎治療剤	176	452	156.5%	549	726	2,000
リボスチン	アレルギー性鼻炎治療剤 アレルギー性結膜炎治療剤	225	220	△ 2.1%	1,920	1,284	1,500
工業所有権等収益		55	76	39.8%	123	116	100
プルリフロキサシン原薬		326	345	5.7%	982	1,209	700
医薬品 計		26,379	27,276	3.4%	52,554	55,746	57,600
機能食品 計		5,794	5,867	1.3%	10,970	11,558	11,800
売上高		32,173	33,143	3.0%	63,525	67,304	69,400

(2)製品開発状況

＜国内開発状況＞

開発段階	開発記号 （一般名）	領域分類	適応	オリジン	開発
申請中	ＮＳ－１１ (ｱｶﾝﾌﾟﾛｻｰﾄｶﾙｼｳﾑ)	その他	ｱﾙｺｰﾙ依存症患者における 断酒維持の補助	導入： ﾒﾙｸｾﾛｰﾉ社(ｽｲｽ)	自社
申請中	ＮＳ－３１５ (ﾄﾗﾏﾄﾞｰﾙ塩酸塩)	その他	非がん性慢性疼痛	導入： ｸﾞﾘｭﾈﾝﾀｰﾙ社(独)	自社
ＰⅢ	ＬＹ４５０１９０ (ﾀﾀﾞﾗﾌｨﾙ)	泌尿器系	前立腺肥大症 に伴う排尿障害	導入： 日本ｲｰﾗｲﾘﾘｰ	日本ｲｰﾗｲﾘﾘｰ
ＰⅢ	ＮＳ－２４ (ﾄﾗﾏﾄﾞｰﾙ塩酸塩)	その他	がん疼痛 非がん性慢性疼痛	導入： ﾊﾟﾗﾃﾞｨﾝ社(ｶﾅﾀﾞ)	自社
ＰⅢ	ＡＣＴ－０６４９９２ (ﾏｼﾃﾝﾀﾝ)	循環代謝系	肺動脈性肺高血圧症	導入： ｱｸﾃﾘｵﾝ社 (ｽｲｽ)	共同： ｱｸﾃﾘｵﾝ・ｼﾞｬﾊﾟﾝ
ＰⅡ	ＮＳ－３０４ (ｾﾚｷｼﾊﾟｸﾞ)	循環代謝系	肺動脈性肺高血圧症 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	自社	共同： ｱｸﾃﾘｵﾝ・ｼﾞｬﾊﾟﾝ
ＰⅡ	ＮＳ－１４１	炎症・ ｱﾚﾙｷﾞｰ系	皮膚疾患に伴うそう痒	自社	自社

＜海外開発状況＞

開発段階	開発記号 （一般名）	領域分類	適応	オリジン	開発
発売準備中	ＮＭ４４１ (ﾌﾟﾙﾘﾌﾛｷｻｼﾝ)	感染症	合成抗菌剤	自社	導出： 柳韓洋行社(韓)
ＰⅢ準備中					導出： ﾘｰｽﾞ・ﾌｧｰﾏ社(香港)
ＰⅢ	ＮＳ－３０４ (ｾﾚｷｼﾊﾟｸﾞ)	循環代謝系	肺動脈性肺高血圧症	自社	導出： ｱｸﾃﾘｵﾝ社(ｽｲｽ)
ＰⅡ	ＮＳ－１８７ (ﾊﾞﾌｪﾁﾆﾌﾞ)	血液がん	Ｂ細胞性慢性ﾘﾝﾊﾟ性白血病 慢性骨髄性白血病（ＰⅡ準備中）	自社	導出： ｻｲﾄﾚｯｸｽ社(米)
ＰⅠ/Ⅱ	ＮＳ－０１８	血液がん	骨髄線維症	自社	自社

(3)製品開発状況・補足資料

申請中	
ＮＳ－１１ (ｱｶﾝﾌﾟﾛｻｰﾄｶﾙｼｳﾑ)	メルクセローノ社（スイス）から導入したアルコール依存症患者における断酒維持の補助剤で、既に欧米で発売済み。国内ではＰⅢ試験を終了し、平成24年3月に承認申請。
ＮＳ－３１５ (ﾄﾗﾏﾄﾞｰﾙ塩酸塩)	グリュネンタール社（独）から導入した非麻薬性の経口鎮痛剤で、世界100ヵ国以上で販売されている。非がん性慢性疼痛の効能追加について、平成24年9月に承認申請。
フェーズⅢ	
ＬＹ４５０１９０ (ﾀﾀﾞﾗﾌｨﾙ)	前立腺肥大症に伴う排尿障害治療剤で、国内は日本イーライリリーがＰⅢ試験を実施中。
ＮＳ－３０４（海外） (ｾﾚｷｼﾊﾟｸﾞ)	自社開発したプロドラッグ型経口剤で、活性代謝物が長時間血中に持続し、強力かつ選択的なPGI_2アゴニスト活性を示す。肺高血圧症治療剤として、欧州医薬品局よりオーファン指定済み。導出先のアクテリオン社（スイス）が日本を除く全世界で肺動脈性肺高血圧症を対象としたＰⅢ試験を実施中。
ＮＳ－２４ (ﾄﾗﾏﾄﾞｰﾙ塩酸塩)	パラディン社（旧ラボファーム社）（カナダ）より導入した経口持続性鎮痛剤でトラマドール塩酸塩の1日1回製剤である。海外では、中等度から中高度の痛みを適応として、すでに世界19ヵ国で発売されている。国内では、平成24年4月にがん疼痛および非がん性慢性疼痛を対象としたＰⅢ試験を開始した。
ＡＣＴ－０６４９９２ (ﾏｼﾃﾝﾀﾝ)	アクテリオン社より導入した肺動脈性肺高血圧症治療剤で、海外ではアクテリオン社がＰⅢ試験を終了し、平成24年10月に米国で承認申請。国内は、平成24年10月にアクテリオン・ジャパンと共同でＰⅢ試験を開始した。マシテンタンはアクテリオン社で創製された高活性の組織特異的エンドセリン受容体デュアルアンタゴニスト。
フェーズⅡ	
ＮＳ－３０４（国内） (ｾﾚｷｼﾊﾟｸﾞ)	国内は、アクテリオン・ジャパンとの共同開発。肺動脈性肺高血圧症、慢性血栓塞栓性肺高血圧症を対象としたＰⅡ試験を実施中。
ＮＳ－１８７ (ﾊﾞﾌｪﾁﾆﾌﾞ)	Bcr-Ablチロシンキナーゼとlynチロシンキナーゼを強力に阻害、イマチニブ耐性にも奏効する。導出先のサイトレックス社（米国）が、B細胞性慢性リンパ性白血病を対象としたＰⅡ試験を実施中。また、慢性骨髄性白血病についてはＰⅡ試験を準備中。
ＮＳ－１４１	自社開発した抗ヒスタミン作用ではない新規作用機序の外用剤で、既存の薬剤が奏効しない難治性のそう痒に対しても効果が期待できる。アトピー性皮膚炎に伴うそう痒を対象としたＰⅡａ試験を終了し、次試験に向けて準備中。
フェーズⅠ/Ⅱ	
ＮＳ－０１８	自社開発したJAK2チロシンキナーゼ阻害剤で、強力な阻害作用と活性型JAK2チロシンキナーゼに対する選択性が高いことから、有効性の向上と副作用の軽減が期待される。国内の患者数が少ないことから、海外での臨床試験を先行し、米国において骨髄線維症患者を対象としたＰⅠ/Ⅱ試験を実施中。